

お取引様各位

平成23年4月13日  
ホクヨープライウッド株式会社  
代表取締役社長 井上 篤博

## 東北地方太平洋沖地震につきまして

3月11日の地震及び津波により、岩手県宮古市に立地するホクヨープライウッド株式会社・関連会社及び、大船渡市に立地する北日本プライウッド株式会社・関連会社は未曾有の被害を受けましたが、社員一丸となって復興へ向け、努力をしているところでございます。

当地域における仮設住宅は、その用地確保で苦慮している所もありますが、各地域においてその建設がスタートし一部入居も始まっております。

当初、合板不足で仮設住宅が進まない等の報道がなされましたが、当地域におきましては、当社の検品を終えた製品(JAS・F☆☆☆☆)をプレハブ協会、市町村と連絡を取り合い、要望に応じた体制を取り供給しております。今後、在庫品で充当できない状況になりましたら、当社関連合板工場が増産体制で生産しており、責任を持って供給を継続してまいりますので、ご安心をいただきたいと思います。

また合わせて復興需要も出て来ており、地元の工務店・建材店へ必要に応じた供給をし、針葉樹型枠用塗装合板の注文も入り出荷も始まっております。

我が国は「森林・林業再生プラン総合対策」が導入され、国産材自給率50%へ向けた産業構造の再構築が始まり、「公共建築物等木材利用促進法」が施行され、あらゆる所で、木造化・木質化が進み始めたところでした。

当社は、国産材需要を促進することで、森林を健全化し循環可能な資源とし、しいては地球温暖化対策と住環境の充実に貢献すべく、国産材針葉樹構造用合板を生産してまいりました。

この度の大震災で工場は大きな被害をこうむりましたが、この理念に変わりはなく地域経済復興と合わせ、その責任を果たすべく早期復興を目指して頑張っております。その間、当社関連工場『ネダノン』等を優先的に生産し皆様に安心してご利用いただけるよう努力してまいります。

日本合板工業組合連合会は「合板は十分に安定供給可能」との発表をしております。

今後、住宅等の建設が始まると思いますが「日本の復興は日本の合板で」を合言葉に頑張っておりますので、ご理解をいただき、ご対応を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

